



# DR. VODDER SCHOOL

---

## JAPAN

可能性を解き放つ。

日本で学べる、世界に認められたリンパドレナージ

Dr. Vodder School Japanはオーストリアに本校を置くDr. Vodder Academy International(DVAI)公認のリンパドレナージの専門教育を提供する団体です。DVAIはリンパドレナージの発明者であるVodderの名を冠する世界で唯一の教育機関であり、世界的に実績を持つ技術と知識を備えた経験豊富なDVAI認定講師陣が、皆さまのスキルアップを全力でサポートします。私たちは、確かな基盤づくりと専門性の追求に情熱を注ぐとともに、卒業後も様々なフォローアップができるよう、つながりを大切に支援に努めています。



世界各地の認定講師たち



### ISO 29990:2010認定取得(ドイツ)

※ISOの取得は、私たちが国際的に高い品質を認められた教育機関であることを証明しています。

※ISO:

International Organization for Standardization  
(国際標準化機構)

## Dr. Vodder's MLDとは?

### やさしくリンパの流れを促す施術

マニュアルリンパドレナージ(Manual Lymph Drainage:MLD)とは、1930年代にエミール・ボダー(Emil Vodder)とエストリッド・ボダー(Estrid Vodder)夫妻によりヨーロッパで発明されたマッサージ技術です。一般的な筋肉をほぐす目的のマッサージとは異なり、そっと触れるくらいの軽い力加減でリズムカルに施術します。やさしくリンパの流れに沿って皮膚をストレッチすることで、皮膚の表面にあるリンパ管を刺激し、リンパの流れを促します。身体に余分に溜まった水分、いわゆる浮腫(むくみ)の改善が期待できるとともに、自律神経の1つである交感神経の興奮を抑えることで、痛みや緊張を和らげるためにも用いられる技術です。適切なMLDによる施術は、決して痛みを感じることはありません。



Vodder夫妻 [www.vodderacademy.com](http://www.vodderacademy.com)

### リンパ浮腫治療から幅広い応用へ

日本でもリンパ浮腫治療で使用されているMLDですが、本来ボダー夫妻が発明したオリジナルのMLDは、正常なリンパ機能へ適切に働きかけることができるため、整形外科領域、火傷・潰瘍など軟部組織損傷、神経難病や脳血管疾患、緩和ケア領域など、海外では様々な分野で用いられています。リンパ浮腫治療だけに限らず、幅広い分野での応用が可能です。私たちの研修では、これまでの研究・教育実績に基づき作成された世界中のボダースクール共通のカリキュラムに沿って、コースを展開しています。

## 代表プロフィールとみなさまへのメッセージ

### <プロフィール>

細谷 有希(ほそたに ゆき) 理学療法士 Dr. Vodder School Japan代表  
Dr. Vodder Academy International認定レベル3講師

2004年に理学療法士国家資格を取得、大学病院、乳腺専門クリニック、在宅緩和ケアクリニック等で勤務し、リンパ浮腫ケアや緩和ケアリハビリテーションに従事。オーストリアのVodder本校をはじめ世界各国での研修を経て、2017年に日本のリハビリ職初DVAI認定講師資格を取得。2024年にはアジア初となるレベル3講師となり、世界水準の技術普及に努めている。

「50年以上の歴史を持つDr. Vodderの技術は、欧州や北米をはじめ、世界各国の医療現場でも用いられています。個人的にも、在宅緩和ケアリハビリに携わる中で、MLDはケアのツールの1つとして有用と感じています。『この技術を日本中に広めてほしい…。』そう託して旅立たれた方の想いを胸に活動をしています。技術の質を大切にしたい厳しい研修ですが、その分得られるものも大きいと思います。皆さんの手を待っている方々がいらっしゃいます。世界中の仲間と一緒に、ぜひ本物のMLDを学んでみませんか。」

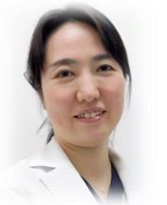


# 座学担当講師のご紹介



土岐 めぐみ リハビリテーション科専門医 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 助教  
Dr. Vodder Academy International認定理論講師 Dr. Vodder's MLD/CDT認定セラピスト

Vodderの研修をきっかけに、院内の仲間とともにリンパ浮腫外来を立ち上げることができました。また、リハビリテーション科では、リンパ浮腫以外の浮腫、運動器疾患や廃用性、慢性疼痛などに関連した浮腫に遭遇することも多いです。そのような時に、Vodderの知識を用いて対応が可能となり、自分の引き出しが増えたことで、患者さんの利益にもつながっていると感じます。



武谷 千晶 産婦人科専門医 千川産婦人科医院 院長 日本大学医学部産婦人科 非常勤講師  
Dr. Vodder Academy International認定理論講師 Dr. Vodder's MLD/CDT認定セラピスト

リンパ浮腫保険診療医

婦人科癌手術後の下肢リンパ浮腫、外陰部リンパ浮腫を中心に診療をしています。癌治療中、癌治療後の患者さんに寄り添う治療を心がけ、リンパ浮腫発症の心配のない癌治療の方法を見つけるべく、リンパ浮腫発症のリスクなどについての臨床研究を行っています。Vodderのクラスは卒業後も病院訪問や診療相談、訪問看護ステーションのネットワークの調査依頼など、よく連絡をとりあっています。一緒にリンパ浮腫治療の輪を広げてゆきましょう！

## 私たちが大切にしていること(Mission/Vision/Value)

### Mission (使命) :可能性を解き放つ

私たちは、世界品質の技術を身につけたセラピストを養成し、リンパ浮腫をはじめ様々な症状を抱える方々が適切な治療を受け、日常生活・人生の可能性が広がるよう支援します。

### Vision (展望) :グローバルな教育の提供と自分らしさを活かせる未来

リンパドレナージの源流であり、世界で最も歴史のあるDr.Vodderの技術を通じて、人々の心身の健康に寄与するとともに、技術の習得を目指すセラピストの自己実現をサポートします。

### Value (行動指針)

1. 専門性と品質:常に最高水準の専門性と技術を提供し、学び続ける姿勢を大切にします。
2. 伝統と創造:歴史ある教育手法・カリキュラムを軸として、常によりよい発想を追求します。
3. 責任と熱意:セラピストとして、自らの担う責任を理解し、誠実に行動します。
4. 協力と連携:多職種・多施設との協力・連携を大切に、社会に貢献できる活動を続けます。
5. 自己実現の支援:治療に関わるすべての人が自分らしくいられるよう、熱意を持って支援します。

## 私たちが選ばれる理由



REASON

1

世界水準の  
確かな指導

海外での厳しい試験に合格したDVAI認定講師がマンツーマンで指導。



REASON

2

経験豊かな  
講師陣

幅広い専門分野に精通した医師や医療専門職が直接指導。



REASON

3

国際資格の  
取得

DVAIのオーストリア本校より国際資格であるセラピスト認定証を発行。



REASON

4

実績豊かな  
卒業生

卒業生は大学病院、がん拠点病院をはじめ、幅広い分野で活躍。



REASON

5

世界規模の  
フォローアップ

世界各国で開催されるレビューコースやイベント・ワークショップへの参加。



REASON

6

リンパ浮腫研修  
協力団体

「専門的なリンパ浮腫研修」の要件を、座学・実技ともに満たす研修内容。

# 研修内容

私たちの研修では、リンパドレナージに関する専門的な知識と技術を身につけ、リンパ浮腫をはじめ、様々な症状に対するアプローチを基礎から時間をかけて丁寧に学んでいきます。初めて資格取得を目指す方はもちろん、他校で学んだ方がさらなるスキルアップを求めて受講されることも少なくありません。厳しい教育トレーニングを受けた認定講師陣が、1人1人に合わせた的確な指導で、あなたの成長と想いを全力でサポートさせていただきます。

LEVEL  
1

## Dr. Vodder's MLD基礎課程

=MLDの基盤となるベーシックコース(5日間)

MLDの基盤となる正常なリンパ機能へのアプローチを学びます。座学はDVAIの教材を用い、E-learning形式で受講していただきます。Vodderに関する歴史をはじめ、基礎的な生理学・解剖学・リンパ学、MLDの概要や効果・適応と禁忌などが含まれ、オンラインでの修了試験があります。学習時間は約20~45時間程度。実技では、MLDの基本手技5種と、頸部、顔面、上肢、下肢、項部、背部、殿部、胸部、腹部の身体9か所に対する手技を実践します。レベル2,3の受講には、まずこのレベル1の修了が必要です。

LEVEL  
2

## Dr. Vodder's MLD応用課程

=幅広い分野でMLDを活かすためのコース(4日間)

応用課程は、レベル1修了後に受講できます。Dr. Vodder's MLDは、リンパ浮腫症例以外にも利用できます。正常なリンパ機能をもちながらも生じる浮腫(骨折や捻挫、打撲など外傷による浮腫)、むち打ち症、火傷、片頭痛、耳鳴り、CRPS、脳卒中、変形性膝関節症、癒着性関節包炎、股関節病変など多彩な症例への対処法、深部リンパ系や筋・関節へのアプローチも学びます。最終日には実技試験が行われ、合格するとDVAIから国際資格であるDr. Vodder's Applied MLDのセラピスト認定証が発行されます。

LEVEL  
3

## Dr. Vodder's MLD/CDTリンパ浮腫治療課程

=複合的治療を習得するコース(9-10日間)

主にリンパ浮腫症例への専門的治療・管理の習得を目的としたコースです。リンパ学に精通した医師による集中的な座学(浮腫の診断・鑑別、各専門領域の概要、ケーススタディ、緩和ケアなど)と、MLD・圧迫療法を主とした臨床での即戦力となるべく実践を想定した評価や治療計画の立案、セルフケア指導や圧迫療法の選択、運動療法など、DVAIのカリキュラムに加え、リンパ浮腫研修運営委員会の定める「専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱」に準拠した内容で行います。また、潰瘍や火傷、瘢痕に対するアプローチも学びます。実技では、上肢および下肢のリンパ浮腫、脂肪浮腫、静脈性浮腫、緩和ケアなど様々な症例を想定し、複合的治療(Combined Decongestive Therapy: CDT)を主軸とした、より実践的なプログラムを学びます。レベル3には座学・実技ともに試験があり、合格すると当団体から「リンパ浮腫セラピスト認定証」の発行と、併せてDVAIから国際資格である「Dr. Vodder's Lymphedema management」のセラピスト認定証が発行されます。

復習

## レビュー=復習コース(2日間)

Vodder認定セラピストによって治療を受ける患者さんが、適切で効果のある治療を受けられるように、セラピストはできる限り最良の治療技術を提供するためのレビュー(復習)コースを設けています。Vodder認定セラピストは、2年に1度はこのレビューコースに参加し、技術の確認と知識のアップデートを行うよう定められています。

### <受講資格>

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、あん摩マッサージ指圧師等 \*2,200時間以上の履修が必要  
\*非医療職は94時間以上の座学(解剖学・生理学・病理学)と250時間以上の徒手的訓練を受けた者(レベル1のみ受講可)

### ☆リンパ浮腫セラピストになるには?

①レベル1(5日間)+レベル3(座学2日間+実習8日間)を修了  
または

②LPCの座学修了+レベル1(5日間) LPC\*の座学は受講前後どちらでも可  
+レベル3(座学0.5日間+実習8.5日間)を修了

※レベル2は必須ではありませんが、受講を強く推奨します!  
(レベル3修了後でも受講可)

※①②ともに、レベル3受講にはレベル1修了が必須です。

\*LPCの座学=ライブ・プランニング・センター主催 リンパ浮腫研修 E-LEARN



研修の様子

・先輩医師からDr. Vodder School Japanをご紹介いただき受講を決めました。いざ、研修が開始されると、知らないことだらけで愕然としました。新しいことを知る楽しさがある一方、自分の技術に落胆しました。しかし、講師の先生方の丁寧なご指導の下、コツコツと知識と技術を習得し、無事にセラピストになることができました。この研修の魅力は語りつくせませんが、その中でも「講師の先生方に指導していただける体制が未来永劫続くこと」と「一緒に頑張った受講生同士の絆が永遠に不滅であること」は本当に素晴らしいポイントだと思います。リンパ浮腫診療を一步前進させたいという気持ちがある方は、ぜひ、この研修にご参加ください。(レベル1,2,3修了・医師・病院勤務)

・Vodderリンパ研修に参加したきっかけは、今後リンパ浮腫外来を引き継ぐものとして、病院の全面的協力のもと資格を取らせて頂きました。学習はメカニズムを知った上で技術に結びつくのでとても重要で難しい部分もあります。手技はとにかく繰り返しやるのみ!でしょうか。少しずつ一人一人の患者さんと向き合い、信頼関係を築いて寄り添ったケアができるように頑張っていきたいと思います。この資格を取って視野が大きく変わり、看護師の仕事以外にもやりがいを持ってこれからも頑張っていきたいと思います。リンパ浮腫で困ってる多くの人の力になれるよう、日本でも多くのセラピスト資格取得者が増えることを願います。(レベル1,2,3修了・看護師・病院勤務)

・私は急性期総合病院に勤務しており、約10年前からリンパ浮腫患者さんに対するケアに携わっていました。いつかリンパ浮腫のセラピストを取得したいという思いがありましたが、なかなか機会に恵まれずにいた中、2020年に北海道で研修が開催されることを知り、職場からの後押しもあって受講することができました。日々の職場での業務から離れて朝から夕方まで座学・実技の毎日は学生時代のように、非常に濃厚で刺激的でした。研修で学んだ内容は職場の特性上、様々な疾患をお持ちの患者さんと関わる機会が多いため、多くの臨床場面で役立てていけることを実感しています。今後もより良いリハビリテーションサービスが提供できるよう研鑽していきたいと思っています。(レベル1,2,3修了・作業療法士・病院勤務)

・前職場は地域のがん診療拠点病院で、リンパ浮腫セラピストが退職し外来がなくて困っていると話を聞いたことをきっかけに勉強を始めました。私の母親もリンパ浮腫を抱えており、身近に感じていたことも大きかったと思います。スクール卒業後は、緩和ケア医に協力を依頼しリンパ浮腫外来を再開。セラピストが一人でわからないことも多く、スクールの同期や先生に連絡しアドバイスをいただきながら取り組むこともしばしば。でも、そんなときに忙しい中、親身に答えてくれる先生や仲間たちの優しさから、スクール選びは間違いなかったと感じることも多くありました。新しい職場は訪問看護ステーションで、多くのがん患者さんに関わっています。今までの経験を活かしつつ、住み慣れた自宅で長く生活ができるように支えていきたいと思っています。(レベル1,2,3修了・理学療法士・訪問看護ステーション勤務)

## よくあるご質問(Q&A)

Q1. 研修は誰でも受けられますか？

→原則的に医師・看護師・理学療法士・作業療法士・あん摩マッサージ指圧師を対象としています。その他の職種の方はお問い合わせください。

Q2. マッサージとリンパドレナージュはどう違うのですか？

→マッサージは筋肉をほぐす目的で用いられることが一般的ですが、リンパドレナージュは体内にたまった余分な水分(リンパ)などを体外に出す(排液)目的に行われます。

Q3. MLDは服の上からしてもよいですか？

→MLDは皮膚の状態を評価しつつ、その状態に合わせて施術しますので、必ず手で直接肌に触れながら行います。

Q4. 事前に見学や体験はできますか？

→はい。あらかじめ日程をご相談いただいた上で、研修期間中に見学をお受けします。また体験説明会なども開催しています。

Q5. セラピスト資格を取得すれば、保険を使ってリンパ浮腫治療をできますか？

→はい。当団体の研修は、「リンパ浮腫複合的治療料」診療報酬算定に必要な「専門的なリンパ浮腫研修」の要件を、座学・実技ともに満たす研修として、リンパ浮腫研修運営委員会より認められています。

Q6. 卒業後にセラピスト同士の交流や意見交換の場はありますか？

→はい。グループチャットやSNSで日頃から意見交換や相談を気軽にいただけます。また、レビュー(復習)コースや同窓会も開催していますので、日本全国のVodderセラピスト・講師と直接交流することができます。他にも、オーストリア本校をはじめ、世界各国でのワークショップにもご参加いただけますので、国際的なつながりを築くことも可能です。



臨床経験豊富な日本の講師陣

# 団体概要

## <団体名>

Dr. Vodder School Japan (ドクターボダースクールジャパン)

## <代表者名>

細谷 有希 (理学療法士・Dr. Vodder Academy International認定講師)

## <団体所在地>

北海道札幌市中央区南1条西16丁目 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座内

## <創立・活動開始年月>

2019年11月創立 2020年1月～活動開始

## <創立目的>

本団体は、オーストリアに本部のあるDr. Vodder Academy Internationalの日本校として、世界規模で医療現場に使用されているManual Lymph Drainage (マニュアルリンパドレナージ、MLD)をはじめ、リンパ浮腫治療の保存的治療法である複合的治療の習得を目的とした講習会・研修会等を開催する。受講対象は主として医療従事者とし、リンパ浮腫をはじめ、様々な症状に思い悩む人たちに対し、医療的に適切な治療・ケアを提供できるセラピストの育成と治療・ケアの普及による社会貢献を目的とする。

## <活動内容>

- (1) マニュアルリンパドレナージ(MLD)やリンパ浮腫等に関する講習会・研修会の開催
- (2) 主にリンパ浮腫に関する相談活動
- (3) 卒業生への知識・技術的なサポート
- (4) 主にリンパ浮腫に関する地域連携・社会貢献活動
- (5) その他、上記に付随した公益性のある活動

## <実績>

2011年～2019年 都内医療機関にて毎年研修を開催。

2019年 Dr. Vodder Academy International日本事務局を創立、  
2020年からDr. Vodder Academy Japanに改称。上記の講習会を継承。

2020年～2022年 北海道札幌市にて講習会を開催(会場: 溪仁会リハビリテーション病院、ホームケアクリニック札幌、札幌医科大学)。

2022年 リンパ浮腫研修運営委員会より、リンパ浮腫専門的研修要件を座学・実技ともに満たす研修として認定、研修の質が外部評価にて高い評価を受ける。

2023年 本州での研修開催の要望に応え、札幌医科大学に加え、国際医療福祉大学にて開催。

2024年～ Dr. Vodder Academy InternationalとFC契約しDr. Vodder School Japanへ改称。国内の全Vodder認定講師が所属する教育機関としてセラピスト育成に従事。



DR. VODDER SCHOOL  
JAPAN

## <お問い合わせ先>

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目  
札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座内  
TEL:011-611-2111 FAX:011-618-5220  
URL:<https://www.vodderjapan.jp/>



HPはこちら

## 関連団体

Dr. Vodder Academy International  
Dr. Vodder Akademie  
Dr. Vodder School International